

世界遺産検定
3級学習ツール⑧
2022.08

- ① 『富岡製糸場と絹産業遺産群』に関する以下の文中の空欄を埋めなさい。

殖産興業を掲げ、国の近代化を目指す明治政府は、フランス人技師の
 (.....) を雇い、日本初の官営工場の建設と、器械
 製糸技術の導入、技術者の育成などを図った。

- ② 『富岡製糸場と絹産業遺産群』の「富岡製糸場」は日本古来の木造の柱に、
 西欧伝来のレンガを組み合わせで建てられた。この構造を何というか。

(.....)

- ③ 『リヨンの歴史地区』で、16世紀初めに絹織物産業を推奨した人物は誰か。

(.....)

- ④ 『小笠原諸島』で見られる、生物が異なる自然環境に適応するために、単一
 の祖先から様々な種に分化してゆく現象を何というか。

(.....)

- ⑤ 『小笠原諸島』に持ち込まれた外来種で、小笠原のチョウやトンボを絶滅に
 追い込んでいる北米産のトカゲは何か。

(.....)

- ⑥ 『ガラパゴス諸島』を訪れ、進化論のアイデアを得て『種の起源』を著した
 英国の博物学者は誰か。

(.....)

① ポール・ブリュナ

フランスのリヨンで製糸技術を学んだポール・ブリュナは、1872年に明治政府に招聘されると、伝統的に養蚕が盛んで、水が豊かな富岡を工場建設の地に選びました。

② 木骨レンガ造

富岡製糸場の繭倉庫（置繭所）や操糸場が木骨レンガ造で建てられています。

③ フランソワ 1 世

リヨンは16世紀にヴァロワ朝のフランソワ 1 世が絹織物産業を推奨し、18世紀末にフランス革命が起こるまで、ヨーロッパの絹産業の中心地でした。

④ 適応放散

小笠原諸島は大陸から離れており、動植物が定着することが難しいため、独自の進化を遂げてきました。中でもカタツムリの仲間の陸産貝類は、適応放散の顕著な例で、約95%の固有率を誇ると言われています。

⑤ グリーンアノール

グリーンアノールの他、ペットや家畜として島に持ち込まれたヤギやブタの繁殖も、島の生態系の破壊につながると考えられています。

⑥ チャールズ・ダーウィン

ガラパゴス諸島は島によって異なる生態系が見られます。ダーウィンはゾウガメやウミイグアナ、フィンチなどの動物を観察し、進化論のアイデアを得ました。